



結むすつこたんぼ「脱穀」と収穫祭
みちのく民俗村では、園内と南口の田んぼで「もち米」を作付けしています。先月21日に参加者、関係者を含め総勢20人弱が鎌で「稲刈り」を行いました。鎌での手刈りは屈んで行うため、腰イタイタイの大変な作業ですが、参加者の方々は尻の力っパ。厭う様子もなく収穫作業をこなしてまいります。参加者の楽しそうな風景を見ると私たちの作業にも自然と力が湧いてくるのです。皆さんに収穫していただいた稲束は「ほよ」に掛け乾燥してまいります。一説には「穂仁王」といい田んぼの中に仁王様が立っている姿を想起させること



からついた名だとか。他に横に渡した木杭に掛ける「ほせ掛け」という乾し方もあるのですが「ほよ」のほうを使用する木杭が断然に少ないのだとか。そして乾燥が終われば次は脱穀です。機械化された現在ではコンバインで刈り取り・脱穀まで行うため、作業は格段と少なくなりましたが、以前は乾した稲穂を千歯こきや足踏み脱穀機で籾を取り外し、白など籾摺り、そして精米します。今回の脱穀作業は昔の道具を使つて作業してまいります。これで一連の作業は終了します。餅をついて皆さんで収穫をお祝いしましょう。

とき 10月25日(日)
午前10時から12時
ところ みちのく民俗村 園内田
かいひ 大人1,000円
小学生以下500円




「アラド楽土市」開催
先月に引き続き、10月24・25日の2日間、みちのく民俗村を会場に「アラド楽土市」が開催されます。展勝地の餅はもちろんのこと、産直野菜のほか沿岸大船渡からカキやホタテクリームコロッケ、市内のお菓子やパン、着物リメイク、藤蓑のカゴなどの手作り品も出店されます。9月から行つているワークショップも同時開催しており、民家では毛糸紡ぎや羊毛のモコモコひんじバッグづくりなども。今年春から月1回の開催を予定していた「アラド楽土市」ですが、コロナの影響で8月まで中止となり、先月9月と今回の2回のみで開催となりました。年間通じまの開催を予定していただだけに残念至極です。回を重ね、皆様に興

持ち物 長靴、タオル、帽子、マスク、軍手
申込先は展勝地レストハウスまで
電話014-210-0110 info@ingather.net



味を持つていただけるお店や商店も揃えてまいります。今年度最後になりました。皆様のお越しをくびたを長くくしまお待ちしております。



10月の自然観察会開催

西山では紅葉が始まり、自然観察会の鈴木講師はいまもたつまでもいられないという状況にあるのかもしれませんが、毎月実施しております自然観察会を今月も第4木曜日に行います。先月は鈴木講師が鳥の巣を持ってまきまいたいたり、民俗村を飛び出しマ陣竹岡の植物も観察したりと参加者も楽しんでいました。わかりやすくそれでいて詳しく説明していただけるので、初めの方もどしどしご参加ください。なお、今年の観察会は11月で終了予定です。

10月22日(木)午前10時から
会費1,000円(弁当、保険料)
肌寒い日もあります。ご留意下さい。



写真展 第2弾開催!

民俗村内で撮影された蝶の写真を集めた『チヨウおもしろ写真展』は9月末をもって終了しましたが、ご覧いただいたお客様からは「民俗村にこんなにたくさん種類の蝶がいるなんて知らなかった」とご好評をいただきました。柳の下の2匹目のドジョウを狙った『チヨウおもしろ写真展第2弾』としても蝶を鳥に替え、体験工房を会場



に「えなだりの鳥たち」として開催します。以前から民俗村にしばしば足を運んでくださったという、日本



野鳥の会 北上支部 会員の征矢和宣(そやかずのり)江釣子在住の江釣子さんが撮ったもの

民俗村内で撮影したものは限りませんが、展勝地周辺で確認できるものの中から



49種108点の野鳥たちが表情豊かに収まっています。音はすれども姿は見えずほんにあなたは屁のようなの如く、鳴き声はたたくさん聞こえるけれどもその姿を確認、さらには撮影するのは並大抵のことではありません。特に小さな鳥たちは私のように落ち着きがなく(母からはマびらつこと呼ばれていた、一カ所に留まることなく枝から枝へ跳ね回っている)なので、撮影秘話などいろいろなお話が聞けると思います。ぜひ足をお運びください。

きたかみ弁『ぬりる』



先日3日園内で「きたかみ子育マネット」さん主催の絵本作家としんさんをお招きして絵本トークが行われました。きたかみ子育マネットさんは市内の協議会や審議会委員などにも名を連ね、子育てに関する政策提言や要望等を行ったり、SNSを通じて情報提供や情報交換などを行っており、各種助成金を活用した子育てイベント開催など活発に活動されている団体さんです。今回親子で活用してもらおうと「きたかみぬりる」を作成されましたが、ぬりえとドリルを短くして「ぬりる」としたこともさることながら、この方言の内容も私達にはチヨウしっくりくるもので、まさに「えなだりの言葉」爆笑ものです。方言なので民俗村にピッタリかもと配布にお許しを

いただきました。数に限りがありますが「子供連れでいらした方」という条件で、ご希望の方にお配りします。受付にマお申し出ください。聞くところによると民俗村限定とか。



からだの名称

からだの各部分の名称を覚えておくと、ぬりるがもっと楽しくなります!

- でんぐり ●
- もも ●
- いびき ●
- もみ ●
- ばやばや ●
- ごんがら ●
- グダグダした様子 ●
- グダグダした様子 ●
- 二日酔いの様子 ●
- ばやばや ●
- げんがら ●
- げんがら ●
- ちやちや ●

新コーナーの予感:

前回「来園者からのお便り」としてご紹介した方から今回も投稿が。シリーズ採用したくられたら嬉しいですね。とのこと、「いも爺がオススメ」としてご紹介いたします。

【食欲の秋が大好きな展勝地モチを食べますが、読書の秋でもあります。市内には公設図書館がありますが「展勝地文庫」もスゴイです。様々なジャンルの書籍がズラリ。お聞きしたら(株)展勝地に集められたものだから。園内持ち出しも出来るので紅葉を愛しながらの読書も格別。ぜひ旧黒沢尻女学校校舎にお立ち寄りください。いも爺】
今後も投稿いただいた際に掲載していきます。

ぶち?民俗村まつり?

毎年10月に行われまわりました「みちのく民俗村まつり」ですが、今年が多めに漏れず新型コロナウイルス感染症予防の観点から、規模を大幅に縮小致します。各民家での手作り体験型として開催する予定です。期日は11月8日。少し肌寒くなりますが、民俗村の火を囲みながら、何か手作り体験をしてみたいという企画をわかりしめます。詳細が決まりましたらお知らせいたしますので、どうぞお楽しみに。

犯人は誰だ???

この時期、民俗資料館内の事務所でパソコンカタカタと仕事をしていると、何やら「コンコン」と不思議な音が。テレレレテレレレ、と、あの木スベの宇宙人特集など怪奇スペシヤルの効果音を思い出して、さマは!と手をとめましばらうく固まっます。最初のうちは資料館内を発信源を探索しま歩いのですが、今はもう慣れっこ。「さマはまた来マヤがるなあ?」とカメラ片手に外へ。すぐに感づかれないなくなっちゃうんですが、犯人はこやつ!「そう!アオゲラ君。あつ!といういまマエ」と、お宅ら穴開けるの何個目??

